

(会議の経過) 第1回一宮北中学校区 幼保一元化に係る地域の委員会

発言者	議題・発言内容
事務局	1. 開会
事務局	2. あいさつ
	(協議事項)
	3. 幼保一元化に係る地域の委員会の設置について
	(1) 委員会の設置と名称について
事務局	資料2ページをご覧いただきたい。一宮北中学校区における幼保一元化に係る
	地域の委員会として設置するこの委員会の設置要領について、事務局案として
	別紙のとおり提案させていただく。
	名 称：一宮北中学校区幼保一元化に係る地域の委員会
	委員の任期：地域として今後の方向性の協議が終了するまでの間
	会議の公開：会議は原則公開とする。
	(全会一致で承認)
事務局	本委員会は一宮北中学校区の幼保一元化に係る地域の委員会として別添要領
	のとおり、承認、設置された。
	(2) 役員を選出について
事務局	先ほど承認いただいた要領の3. 委員会の役員にある(1)委員会に会長及び
	副会長を置く。(2)会長及び副会長は、委員の互選により選出する。の規定
	に基づき、会長及び副会長の選任について、どのような方法で選出すればよろ
	しいか。
	<事務局一任>
事務局	事務局一任という声があったので、こちらから指名してもよろしいか。
	<全会一致で承認>
事務局	それでは、会長に三方地区連合自治会長、副会長に下三方地区連合自治会長、
	同じく繁盛地区連合自治会長にお願いしたいと思うがいかがか。
	<全会一致で承認>
会長、副会長	役員就任あいさつ
会長	それでは協議事項に入る。事務局より説明をお願いします。
	4. 協議事項
	(資料説明)
事務局	本日の議題1～3まで関連があるので、続けてご説明させていただく。
	(1) これまでの経緯について
	(2) 宍粟市幼保一元化推進計画について
	(3) これからの協議について
	(質疑)
会長	これまで、幼保一元化については協議をしていないので、一北校区の小学
	校の学校規模適正化のこれまでの経緯について説明したが、ご質問はある

委員	か。
事務局	これからの協議について、学校規模適正化協議会の進み具合を考慮してと説明があったが、それはどんなところを考慮して協議を進めるのか。
事務局	学校規模適正化に係る協議会では、現在のところ、平成28年に北中学校の校舎に近いところで、議論が進んでいる。幼保一元化についても、時期や場所について、協議会の進み具合を考慮しながら、協議を進めたいと考えている。
会長	幼保一元化を進めるにあたっては、子どもにとっても、親にとっても良い方向に進むことでなければ、地域としては同意できない。教育委員会として、メリットだけでなくデメリットも説明してほしい。
事務局	運営側の視点では、今のところ、幼稚園と保育所、認定こども園について、それぞれ国の所管が違うので、手続きや基準等で少しややこしいところがある。また、こども園では、幼稚園部と保育所部の先生の配置シフトで難しいところがある。
事務局	地域から見た視点では、身近な地域から施設が遠くなることで、地域のシンボルがなくなり寂しいとの声があるが、小学校の場合は小さな集団の方が、指導が行き届いてよいとの意見もある。対象者が幼児では、大きな集団の中で育ちのメリットの方が大きいのではないかと考えている。
委員	私たちは、今の公立で十分満足している。なぜ民間なのか。
事務局	現在、市内では、幼稚園の就園率が5割以下となる一方で、核家族化や両親が共働きにより保育所のニーズが高くなっている。市ではこのニーズに答えるために、認定こども園の設置を計画している。一方、運営面からみると、市内には、社会福祉法人が運営する保育所が7か所あるが、民間であっても申し込みや入所の決定、保育料の徴収については、市が行っており、保育の質を市が担保することで、安心して子どもを預けることが出来る環境づくりを考えている。民間の認可保育所では、早朝保育や延長保育など地域のニーズに対応した運営をされており、公立と民間の両方が選択できる地域では、民間保育所の方がニーズが高いのが現状である。
委員	繁盛では、小学校の統合に合わせて幼稚園も小学校の近くにという意見が大半で、保護者の方は、幼稚園の統合が良いのか、幼保一元化を進めることが良いのか。子どもをどこに入れたいのか。お母さん方の今の素直な思いを確認しながら、地域にとって最良の選択を選びたい。
会長	幼稚園、保育所、子育ての代表の方は、これまで何度もこの話を聞いておられるのか。それぞれの園所で、保護者の方では、どんな話が出ているのか。それをこの場で話していただきたい。
委員	下三方地区の懇談会で、幼保一元化の前に、小学校の統合に合わせて、幼稚園3園の統合を進めてもらいたいと意見を出したが、その後、どうなっ

事務局	たのか。 一宮南中学校区でも同じ意見が出たが、教育委員会としては、今、地域の皆さんと幼保一元化について十分な協議をせずに、幼稚園だけ先に統合を図ることは考えていない。この場で、地域としての思いを協議していただきたい。
委員	地域から、小学校や幼稚園がなくなることは、寂しい思いもあるが、子どものことを考えると、小学校と同時に一つになった方が良い。ただ、幼稚園と保育所が一緒になることについては、保育の時間帯を見ても難しいところがある。
事務局	こども園は、幼稚園と保育所の両方の機能を兼ねているので、利用者は、申し込みの際に幼稚園と保育所を選ぶことが出来るので心配ない。
委員	下三方と同じで、幼稚園だけ残っても寂しいので、小学校と同時に進めてほしい。
会長 委員	下三方と三方、繁盛では、少しずつ意見が違うようだ。 教育委員会は、大丈夫と言われているが、私立に対して不安がある。人気があるとかないとかは関係ない。今まで、公立の幼稚園で困ったことはない。この地域では、選択肢がない中で私立だけというのでは困る。
事務局	今は、この地域には、公立保育所しかない。これは、選択肢がないとも言える。この地域では、4・5歳児は殆んど幼稚園だが、他の地域では、半数以上が保育所という地域もあるので、教育委員会として幼保一元化を進めている。この場では、市の考え方について、今一度、一緒に考えてもらいたい。その上で、地域の合意が得られなければ、この話は進めることはできない。これから、皆さんと一緒に議論を進めて行きたい。
委員	もしも、ここで反対となれば、この話はなくなるのか。
事務局	地域が反対しているのに、教育委員会が強引に進めるという考えは持っていない。実際に、波賀では、平成27年開園の千種認定こども園の内容をみて協議をすることとし、現在、幼保一元化の協議は止まっている。
委員	実施時期とか実施場所と言われたときに、幼小のつながり、連携がうまく行くのか気になる。地域としては、幼稚園の統合が先という思いがある。教育委員会としては、今は考えていないということだが、次回以降の協議に向けて検討が必要だ。
委員	子育てグループのお母さんの中では、あまり話が出ていない。4月から子どもが幼稚園に通っているが、人数は少ないが、楽しんで登園している。幼稚園には預かり保育があり、今のところ、認定こども園の必要性は感じない。
会長	本日いただいたご意見を基に、今後、どのように協議を進めて行けばよいのか、事務局と相談をして、次回のご案内を差し上げたい。次回は、7月

	<p>中に開催することとし、場所については、センター三方に固定して開催したいかどうか。</p> <p>(承認)</p>
--	---